

「礼拝と宣教を大切にす教会」

ヘブル10：25

堀田修一

22・3・20

「ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合いましょ。その日（主の再臨）が近づいていることが分かっているのですから、ますます励もうではありませんか」ヘブル10：25

I 2022年度の聖句に、この御言葉を選ばせていただいた理由。

神の時にコロナが終息する事を祈りつつ。「自分たちの集まり（礼拝の集まり、祈り、交わり励まし合う集まり）をやめたりせず」：25。コロナ禍の中で、集まる事が制限される経験により、かえって、これまで、当たり前のようにできていた事の恵みが身に沁みます。この事により、聖書が教える原点を確認しておく必要を覚えさせられます。また、この御言葉の通り、主の再臨の日が近づいている（このヘブル人への手紙は、AD65～69年頃に書かれた。この時も主の日が近づいていると本気で言われているとすれば、それから2千年経っている今は、もっと主の再臨が近づいている。「国は国に敵対して立ち上がり、大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい光景や天からの大きなしるしが現れます」ルカ21：11）事を覚えながら歩む必要を自覚させられるからです。教会とは、建物の教会堂の事ではなく、キリスト者の集まりそのものを指します。キリスト者が集まり素晴らしい神を礼拝する時、神は喜び、礼拝の中に臨在される。教会はキリストの一つとされたからだ、生きた共同体です。聖書は、ひとりぼっちのキリスト者という概念を全く教えていません。コロナ禍の中でも、感染防止をしつつ、数名でも集まり、祈り、礼拝する事を励ます御言葉＝「二人か三人がわたしの名において集まっているところには、わたしもその中にいるのです」マタイ18：20。主は、礼拝、祈り合い、交わりの集まりの中に臨在されます。但し、病や体調や体力や色々な事情で、自宅や施設や病院で素晴らしい神を礼拝される事も神は喜んでおられる事を覚えましょう。現在も天使達と先に天に召された神の民の天での礼拝と地上での礼拝堂に集まったの礼拝と自宅や施設や病院で捧げられている礼拝は、御聖霊により繋がっている事実を覚え、大きな励ましをいただき心から感謝しましょう！神が「礼拝と宣教」を喜ばれる事は、聖書全体の教えです。

II キリスト者が共に集まり神をほめたたえる礼拝の大切さ。

1. 神が天と地を造られた目的は何でしょう。それは、天と地、人間が、造り主の神を喜び神の栄光を現わし語り告げ、神をほめたたえ賛美し礼拝する為です。「天は神の栄光を語り告げ 大空は御手のわざを告げ知らせる」詩篇19：1「全地よ 主に喜び叫べ。大声で叫ぶ、喜び歌い ほめ歌を歌え」98：4。
2. また、私たち人間が、三位一体の神の先行的恵みにより救われた目的は何でしょう。

- i エペソ 1 : 3 - 5 の父なる神の先行的救いの恵みに対して→「それは、神がその愛する方であって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです」 1 : 6。
- ii 1 : 7 - 11 の御子なるイエスの恵みに対して→ 「それは、前からキリストに望みを置いていた私たちが、神の栄光をほめたたえるためです」 : 12。
- iii 1 : 13 - 14 の御聖霊の恵みに対して→「このことは、私たちが贖われて神のものとなされ、神の栄光がほめたたえられるためです」 : 14。

3. 神に造られた被造物の究極の目的は、神を讃え礼拝する事です。地でも新しい天でも。主の再臨による新天新地で壮大な礼拝が実現します。「天と地と地の下と海にいるすべての造られたもの、それらの中にあるすべてのものがこう言うのを聞いた。『御座に着いておられる方と子羊に、賛美と誉と栄光と力が世々限りなくありますように。』黙示録 5 : 13。神に造られた「被造物（生物、植物）のすべては、今に至るまで、ともにうめき、ともに産みの苦しみ（主の再臨により産みだされる新天新地、今の被造物と無関係ではなく、新しく造られる恵みを待ちの望む苦しみ）をしています」ローマ 8 : 22。「狼と子羊はともに草をはみ、獅子は牛のように藁を食べ、蛇はちりを食べ物とし、わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは害を加えず、滅ぼすこともない。一主は言われる。」イザヤ 65 : 25

Ⅲ キリスト者が、神の恵みで、他の人々より一足早く救われた目的は何でしょう。

1. それは、先に救われた私達が、神の救いの恵みに感謝し、御聖霊と御言葉の力に頼り、人々を神から受けている愛で愛し関係作りをし、主の救いの福音を家族、知人、友人、世界のすべての人に宣べ伝える事です。もし、この2千年間、キリスト者が、主の福音を世界中に伝える使命を果たさなかったら、私達のもとに救いの福音は、届いていないのです。しかし、私達には、主の福音を伝える人々を私達のもとに主が遣わして下さった恵みを心から感謝しましょう。次は、私達が、主の恵みをいただいて聖霊の力に頼り福音を伝える番です。まず、私達を愛された神を愛し、礼拝し、神の愛と恵みと力をいただく時、宣教、伝道のわがが生まれます。イスラエルの主の弟子達とキリスト者がご聖霊に満たされ、全世界に福音を宣べ伝えたので、現在、全世界にクリスチャンが誕生しているのです。ロシアにもウクライナにも、人権の閉めつけの強い中国にも、迫害されているミャンマーにも。※証し。

『主の御名を呼び求める者はみな救われる』のです。しかし、信じた事のない方を、どのようにして呼び求めるのでしょうか。聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか」ローマ 10 : 13 - 14。

※証し。良い知らせを伝える人がいなければ？

「キリスト・イエスの御前で、その現れ（主の再臨）とその御国を思いながら、私は厳かに命じます。みことば（罪についてと主の救いの福音。罪の自覚なしに主の十字架の恵みの理解なし）を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもし

「しっかりやりなさい」Ⅱテモテ4：2

「私は福音を恥としません。福音は…信じるすべての人に救いをもたらす神の力です」

ローマ1：16。※証し。恥ずかしさがありつつ、ご聖霊に励まされつつ主を伝えた恵み。

2. 神が喜ばれる神の臨在に満ちた礼拝の集まりと宣教、伝道には深い繋がりががあります。私は、牧会44年の中で経験し続けている恵みは、礼拝全体と教会員に祈り支えられて語る礼拝説教は、礼拝に参加される新来者や求道者に最も大切な主の福音を伝える宣教伝道のわざとして神が用いられるという恵みです。牧会の中で神は、毎年、主を信じる人、洗礼を受ける人を起こして下さいましたが、その多くの方は、礼拝に集い続け、説教のみことばと御聖霊の働きで罪を認め主を信じ救われ、洗礼を受けられ、主の教会を共に建て上げておられます。私の説教の基本は、教会員がみことばで霊的に養われるように、講解説教の奉仕の為に祈りつつ、祈り支えられつつ力を注いでいますが、礼拝の中に、不思議に、いつも求道者や新来者が与えられ、説教の中で福音の恵み、神の恵みを語るように導かれて来ました。そうしますと教会員も養われ恵みを受け、新来者や求道者の方も主の時に主を信じ救われ、洗礼の学びに導かれるという恵みに与かって来ました。※共に集まり皆さんが心から神を賛美し、喜んで説教を聞いておられる姿そのものが良き証し、宣教、伝道です。私は、毎日が霊的に養われる説教、毎日が伝道の時と自覚し説教をしています。同じ事を語る神の器の著書に出会いました。以前、地区聖会の講師で奉仕をして下さった方です。神に用いられているこの方は、旧新約の聖書と教理と講解説教を非常に大切にされている器で、福音の恵みを語る説教を大切にされている方です。伝道、宣教と主の教会の建て上げ（御言葉の養い）の両方をバランスよく実践されています。

祈り：主の再臨が、近づいている今、神を礼拝し、祈り合う集まりを止めたりせず、むしろ励まし合うことが出来ますように。真の救いを与える主の福音を伝えつつ、主の日を待つ事ができますように。

「福音は全世界に宣べ伝えられて…終わり（主の再臨）が来ます」マタイ24：14